2007−2008年度
第2570地区
行田さくらロータリークラブ週報
ロータリーは分かちあいの心
ウィルフリッドJ・ウィルキンソン会長
国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ
「私たちは家族」
ガバナー　石川　嘉彦
会長方針
いつも心にロータリーバッジを
会長　矢澤　大和
幹事　新井　啓介
編集　松岡　圀男
渡辺　昭孝
橋本　恭一
斉藤　恒
前澤　忠
事務局　埼玉県行田市行田5-10
十万石スリーハートビル3F
電話　048（564）3000番
例会日時　火曜日12:30～13:30
例会場　アドバンテストクラブハウス
行田市天満８－１
電話　048（555）2750番
撮影：斉藤恒会員（武蔵導水路取水口）
印刷：マツオカ印刷株式会社

第 1629 回（4 月 1 日）例会報告

＊点　　鐘　　矢澤大和会長
＊ロータリーソング　　奉仕の理想
＊４つのテスト
＊結婚祝　　横川会員・橋本会員・矢澤会員
戸ヶ崎会員・古田会員
＊誕生日祝　　矢澤会員
＊会長報告　　矢澤大和会長
＊幹事報告　　新井啓介幹事
＊出席状況報告　　渡辺昭孝委員長
＊ニコニコボックス　　島崎義春委員長
＊本日の卓話

＊点鐘　　矢澤大和会長

会長報告

会長　　矢澤　大和

正に今、さくら満開。皆さんはお花見に行かれましたか？私は、専らさくらマップで、行ったつもり。さくらマップは大変好評です。　今日の資料にも有りますが、朝日新聞に続き、「埼北よみうり、埼玉新聞」にも紹介されました。マップに欠落していた場所があったら、お知らせください。観桜旅行の吉野、インターネットですと、中千本の満開が 10 日頃。上千本が 13 日頃満開となっています。日程の設定もぴたり合っています。後は晴天を祈るばかりです。

四月は、「ロータリーの雑誌月間」です。ロータリーでは、ＲＩの公式機関紙「ザ・ロータリアン」の他、世界中で３１の地域雑誌を出しています。「ロータリーの友」も 31 の雑誌の中の一つです。これらの雑誌の活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーアンは、例会に出席しなければならない。会費を納めなければならない。もう一つ、定款 13 条に「ロータリーの雑誌を講読しなければならない」とあります。会に入っているのですから、会費を納める、出席する、これは常識的に解りますが、機関紙を必ず買って更に必ず読まなければいけない。何かアブナイ宗教のような感じすらしますが、内容は古田委員長が毎月話されている様に素晴らしいものです。是非、読んでください。

今日の例会は、その古田委員長に読売新聞の森田啓文（ひろふみ）記者にコンタクトを取って頂き、大変ご多用の中、お越しいただきました。昨年、北海道の肉屋の事件から始まり、伊勢の和菓子など、幾つかのロータリーアンの職業倫理が問われる事件がおきていますが、昨年、１０月１４日「世界遺産の道のり険し」と新聞記事を書いた文責を今日までも持って来られている森田記者の記者魂に敬意を申し上げ、ロータリーの職業倫理も「このようにあって欲しい」と声を大にして会員の皆さんにお願い致し、会長報告とします。

幹事報告

幹事　　新井　啓介

１、今月、4 月は、雑誌月間です。
本日は、雑誌広報委員会の古田委員長の取計らいで、読売新聞の記者、森田啓文様の卓話です。
『さきたま古墳世界遺産への道』と言うことでお話いただきますが、ご期待ください。

今後予定について

2. 本日、第 11 回理事会が開催されましたので、その報告させて頂きます。
初めに、5 月プログラムの件ですが、後ほどＦＡＸにてご案内しますが、５月の例会は、13 日、20 日、27 日、の 3 回となります。
13 日は、 交換留学生のロレーナさん、ツルージオ君とローテックスより１名の卓話を予定しています。
20 日は、行田市長工藤正司様の卓話を予定しています。
27 日は、明日のための特別委員会、田辺委員長担当でクラブフォーラムとなります。
以上、会員皆様のご出席をよろしくお願い致します。
3. ６月の最終例会の開催場所があきる野市の黒茶屋で決定されました。
ご期待頂きたいと思います。
4. 小澤誠邦会員よりご都合により提出されました例会出席免除願いが承認されました。
5. 大相撲熊谷場所実行委員会よりの後援願いが承認されました。　　以上

出席報告

渡辺　昭孝会員

会員数	出席対象者	出席	メーキャップ	出席率
41 名	38 名	23 名	3 名	68.4%

ニコニコボックス

矢澤会長　森田さん、ご多用のところありがとうございます。いかにしたら世界遺産に近づくかご指導下さい。

新井幹事　読売新聞、森田啓文様、本日は卓話ありがとうございます。

戸ケ崎　結婚祝ありがとうございます。

横川　結婚祝ありがとうございます。いまだに仲良くやっています？

矢澤　結婚記念ですね。
何回目でしようかネー。

矢澤　６３歳になりました。早いですネ。

橋本　結婚祝いありがとうございます。２６周年になります。人生の半分にはまだ達していません。

吉田　森田記者さんをお迎え出来まして大変嬉しく思います。

小澤　母の葬儀に際しましてお参りを頂き、また過分の配慮を承りありがとうございました。本日は早退させて頂きます。

髙根沢　本日、理事会欠席して申し訳ございませんでした。花粉症にて病院通い。
すっかり忘れてしまいました（４月１日？）

田中　さくらマップ人気です。さくら満開。
さて花見と思っても雨に風・おあずけすれば団子もうまいですかね。

倉持　読売新聞森田様卓話楽しみにしております。吉野の竹林院のご主人より吉野の桜はまだ現時点でやっとつぼみがほころんだ状態です。皆様がお越しのころには桜が咲く頃です。皆様のお越しを、心よりお待ちしておりますとの事です。

阿部　森田さん来訪ありがとうございます。
「飛鳥路も桜がつなぐ世界遺産」
観桜旅行楽しみにしております。

斎藤　読売新聞森田啓文様
本日は卓話ありがとうございます。

同文　松岡・松本・川辺･田邊・三島・神田・渡辺・島崎・半田

本　日　の　卓　話

雑誌・広報委員会
古田稔委員長

「埼玉古墳群世界遺産、道のり険し」と報道した、読売新聞スクープ記事を取り上げた記者、森田啓文氏をお招きしました。昨年、熊谷支局に在任中書いた記事です。今年、3月さいたま支局に赴任されました。

「埼玉古墳群 世界遺産への道」
読売新聞東京本社
さいたま支局
記者　森田啓文

ご紹介いただきました、読売新聞の森田と申します。今年２月１日付で、熊谷支局からさいたま支局の埼玉県警担当に異動しました。本日は昨年１０月１４日に掲載された「埼玉古墳群　世界遺産道のり険し」という記事の背景について、お話ししたいと思います。

１．厳しいのは行田だけでない

「道のり険し」という大きな見出しで掲載されたことで、行田の世界遺産運動に冷や水をかけられた、と少々憤慨された方もいらっしゃると伺いました。

ですが、まず強調したいのは、道のりが厳しいのは埼玉古墳群だけでなく、すべての候補地も同じということです。記事にも書いたとおり、暫定リストに掲載された候補地は、世界ですでに１３００。このうち、登録審査を受けられるのは年間４５だけですから、厳しいという事情は世界の候補地どこも同じです。

国内的に見てもそうです。暫定リスト掲載済みの候補地は７件。暫定リストへの追加掲載を求めているのは、行田も入れて計３２件。条件はどこも同じです。

専門家のコメントとして記事で紹介させていただきましたが、埼玉古墳群は日本を代表する古墳群に間違いありません。地元の皆さんが世界遺産登録運動を行うことに、なんら恥ずべきところはなく、むしろ自信をもって登録運動が進められることを県民の１人として願っています。

２．運動自体に意義がある

埼玉古墳群だけでなく、どこの候補地にとっても世界遺産への道のりは険しいという話をしました。道のりは厳しいものですが､私は世界遺産登録運動自体に、大きな意義や好影響があると、取材を通じて感じています。

言うまでもなく、登録運動は埼玉古墳群の知名度アップにつながります。行田には、埼玉古墳群のほかにも、忍城や蔵の街並みもあります。石田三成が忍城に攻め込んできた時の話を小説にした｢のぼうの城｣も、全国的に売れてきていて、話題になりつつあります。石田三成は埼玉古墳群の一つ、丸墓山古墳に陣を設けたのでしたね。

こうした歴史的景観や遺産を街を活性化するための「資源」と捉え、登録運動を通じて埼玉古墳群の資源的価値を高めることが重要だと思います。

歴史的景観や遺産については､「開発か保全か」という議論に終始しがちです。ですが、世界遺産登録運動は、遺産の保全を進めたうえで、地元への経済的効果も期待できるという意味で、そうした二者択一を超えた、大きな可能性を秘めた事業になりうると、取材を通じて感じました。昨年書いた記事は、世界遺産までの道のりについての事実関係を中心に書きましたが、いずれ登録運動自体の好影響についても記事化できればと考えています。

4月　結婚祝

古田会員・戸ヶ崎会員・橋本会員・矢澤会長

横川会員

4月誕生日祝い

矢澤会長